

企画展
「津波を越えて生きる
大槌町の奮闘の記録」

岩手県大槌町の被災前の文化を紹介すると同時に、被災直後の人ひとりの行動や復旧の試みなどを展示の形でたどりまします。将来起こりうる大規模災害に対する備えの必要性を示し、災害を乗り越えて過去から未来へと文化や伝統をつなぐべき意義を考えまします。

会期 2017年1月19日(木)～4月11日(火)
会場 本館企画展示場



大槌まつりの手踊り隊

■年末年始展示イベント「とり」
2017年の干支をテーマに、みんなく所蔵の資料や写真を展示し、世界各地の「とり」を紹介まします。

会期 12月8日(木)～2017年1月24日(火)
会場 本館ナビひろば



孔雀舞衣装(中国)

■関連イベント
「みんなくでバードウォッチング!」
マップをもとに「展示場にいる「とり」を探まします。マップに掲載のクイズに解答された方には、参加賞を贈まします。

日時 2017年1月9日(月・祝)
10時～17時(16時受付終了)
受付場所 本館エントランスホール
会場 本館展示場

※当日随時受付、先着350名(参加無料)当日は無料観覧日です。
■関連イベント
「みんなく映画会」
第35回ワールドシネマ
「パレードへようこそ」
1984年サッチャー政権下のイギリスを舞台に、ストライキを敢行する炭坑労働者と、彼らを支援するゲイグループが、理解しあひ結束するまでを描いたイギリス映画を上映まします。

日時 12月4日(日)
13時30分～16時30分(13時開場)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
※入場整理券を当日11時から本館2階観覧券売場にて配布

「みんなくXナレッジキャピタル」展示
キュレーションの誘惑——新しいみんなく
の展示ができるまで」
本館の研究者が、展示という作業の醍醐味と

■関連イベント
トヨコリXボボ——アイヌ音楽ライブ
by OKI/MAREWREW
日時 2017年1月29日(日)
14時～15時30分(13時20分開場)
会場 本館講堂(定員450名)
出演 OKI(オキ)
MAREWREW(マレウレウ)
司会 齋藤玲子(本館准教授)
※要事前申込、参加無料(要展示観覧券)
アイヌアートにふれる日——木彫の可能性
日時 2017年2月4日(土)、5日(日)
11時～16時
会場 本館エントランスホール
作家 貝澤徹木彫家/北の工房(つとむ)
藤戸康平(木彫家/熊の家・藤戸)
※申込不要、参加無料
展示場クイズ「みんなく」
アイヌの文化編
12月15日(木)～2017年1月24日(火)

魅力についてお話しし、展示キュレーションの世界へ誘いまします(全7回)。
時間 19時～20時30分
会場 グランフロント大阪北館1階
ナレッジキャピタル「カフェラボ」
※要事前申込、参加費500円(1ドリンク付き)、定員各回50名
主催 国立民族学博物館
一般社団法人ナレッジキャピタル
12月8日(木)
展示キュレーションの誘惑
——新しいアイヌの文化展示ができるまで
講師 齋藤玲子(本館准教授)
お問い合わせ先
一般社団法人ナレッジキャピタル
06-63372-6530
●休館日、無料観覧日のお知らせ
年末年始は12月28日(水)～1月4日(水)まで休館まします。1月9日(月・祝)成人の日は本館展示を無料で観覧ただけまします。ただし自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要まします。
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

みんなくセミナー

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をく観になる方は展示観覧券が必要まします)
第463回 12月17日(土)
アイヌ語はどこから来たのか。そして、どこへ行くのか。
講師 中川裕子(千葉大学 教授)
齋藤玲子(本館 准教授)



公開でウェブサイト
アイヌ語と日本語の歴史的な関係や、この言語と似ているかなどについて解説するまします。現在保存・継承の取り組みや将来への展望をお話まします。新展示で見る・聞くことのできるアイヌ語も紹介まします。
千葉大学のアイヌ語教材中

※当日11時30分～12時、アイヌの文化展示場案内を開
演(要展示観覧券)

みんなくワークショップ・サロン
研究者の話をく

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
ただし、11日(日)、25日(日)は展示観覧券不要
本館の研究者が「現在取り組ましている研究」「調査している地域(国)の最新情報」「みんなくの展示資料について分かりやすくお話しまします。」
12月11日(日) 14時30分～15時 本館第3セミナー室
民族音楽学の考え方
講師 寺田吉孝(本館 教授)
12月18日(日) 14時30分～15時15分
本館第5セミナー室→アイヌの文化展示場
先住民アート——アイヌとカナダ先住民の比較
講師 岸上伸啓(本館 教授)
12月25日(日) 14時30分～15時15分
本館第3セミナー室
みんなく資料をあつめてみよう——データベースを活用した仮想展示のつくり方——
講師 丸川雄三(本館 准教授)

■陳天璽、大西広之、小森宏美、佐々木てる 編著
『パスポート学』
北海道大学出版会 3,200円(税抜)

本邦初「パスポート」についてどこどん追求する書。日本からの出国者はみな、パスポートないしそれに代わるものを使って国外に出て、帰国時にも同様の手続きを行う。それはもはや日常的な風景かもしれないが、なぜそうした手続きが必要なのか、そして国を出入りすることにはどんな意味があるのか。本書はこの根本的な問いに答え、パスポートについて体系的に考える手がかりを提供する。



■西尾哲夫、水野信男 編著
『中東世界の音楽文化——うまれかわる伝統』
スタイルノート 3,600円(税抜)

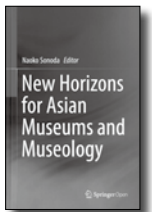
イスラム文化圏に属する中東世界は人類最古の文明発祥地をかかえ、世界の音楽文化の根源と基底をかたちづつてきた。本書では、「繋ぐ」、「継ぐ」、「紡ぐ」、「創る」という4つのキーワードから、音楽文化が、中東と西洋を舞台に互いに越境しあひ、縦横に行き来し、展開し、深化しつづけている実態を分析し論じている。



刊行物紹介

■園田直子 編
New Horizons for Asian Museums and Museology
邦題: アジアにおける博物館・博物館学の新しい展開

Springer Singapore
本書では、日本、タイ、ミャンマー、モンゴルなどの事例から、それぞれの歴史的・社会的・文化的背景のもとに発展し、成熟するアジアの博物館の「いま」を明らかにする。海外に向けた発信が少なかったアジアの博物館・博物館学の現状をひろく紹介することで、博物館研究に新たな切り口をひらく。



国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
<http://www.senri-f.or.jp/> E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会

新「アイヌの文化」展示関連講演会

2016年6月にリニューアルオープンしたアイヌの文化展示では「現代、そして未来」というセクションを設けています。本講演会では新しくなった展示の見どころを紹介することにも、関西・関東でアイヌ文化の普及・継承活動に携わるお二人をゲストに迎えて、近年の取り組みとそれに対する思いを語っていただきます。

第462回友の会講演会(大阪)

2017年1月7日(土)13時30分～14時40分
アイヌ文化を楽しくく——関西での活動を例に
ゲスト 藤戸ひろ子(ミナミナの会代表)
講師 齋藤玲子(本館 准教授)
大阪を拠点に展開する、手仕事や芸能など「体験」を重視した活動を紹介します。

※当日受付、会員証提示(会員外500円)

第116回東京講演会

2017年1月9日(月・祝)13時30分～14時40分
「アイヌアート」をもっと身近に——
イラストレーションから踊りまで
ゲスト 小笠原小夜(アイヌ文化交流センター非常勤職員、イラストレーター)
講師 齋藤玲子(本館 准教授)

伝統をふまえて、あらたな表現方法に挑戦する、作家/アーティストたちの活動などについて紹介まします。

会場 アイヌ文化交流センター(定員60名)

※要事前申込、無料(会員は会員証提示)

●向講演会とも終了後、解説付きの見学会をおこなまします。

第463回友の会講演会(大阪)

2017年2月4日(土)13時30分～14時40分
「現代中東地域研究推進事業拠点設置関連」
世界各地のイスラーム
みんなくでその広がりを考える
講師 山中由里子(本館 准教授)
会場 本館第5セミナー室

※当日受付、会員証提示(会員外500円)

●講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこなまします。